

事務事業名		厚生住宅管理運営事業			会計	一般会計		事業種別		経常	開始	終了	
H27担当課等名	福祉課		H27係等名	生活福祉係		H26係等名		生活福祉係					
基本計画上の位置づけ	政策	3	健やかに安心して暮らせるまちづくり										
	施策	36	生活困難者の自立及び支援										
目的	対象(誰・何を)	厚生住宅入居者						指標名及び単位		26年度数値			
	意図(どういう状態にするか)	生活困窮者に対し安定した生活を送るための住宅供給を行う						対象指標		厚生住宅戸数(戸)			
	向上させたい上位施策の成果指標	生活相談者数/人口(%)								8			
目標	種別	指標名及び単位				26年度計画	26年度実績	27年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)			
	副指標	厚生住宅入居戸数/厚生住宅数(%)				75	75	75	75				
	成果指標	住宅困窮者が厚生住宅を必要とした時に入居できる				100	100	100	100				
	定性目標												
事業概要	市営住宅の一部であり、主に生活困窮者に対する自立のための一時的な住宅として福祉課が管理し、住居を供給している。												
26年度事業内容	事業内容					名称			活動指標				
	1 厚生住宅の維持管理(社会福祉一般事務に計上) 2 緊急用として最低1戸確保(できれば男性用、女性用と2戸確保) 3 H25年度において下水道が布設となったため、下水道受益者負担金を支払う。【新】 4 厚生住宅の今後のあり方を検討する					1 維持管理戸数 2 入居戸数 3 下水道受益者負担金			1 8戸 2 6~7戸 3 139千円				
事業コスト		25年度決算額	26年度予算額	26年度決算額	27年度予算額	特定財源内訳、補足							
事業費計(千円)①		34	140	139	201	(そ)厚生住宅使用料 140千円							
国庫支出金													
県支出金													
起債													
その他		34	140	139	201								
一般財源													
人件費計(千円)②		358		358									
正規職員所要時間		100		100									
臨時職員所要時間													
総事業費①+②		392	140	497	201								
事業内容・目標達成状況の振り返り	必要戸数を確保しつつ、入居者に対し住宅が提供できた。												
改革改善の考え方	①問題点	建物が老朽化しており、維持費の増加が懸念される。また、維持していくかどうかの検討も必要 水洗化への対応											
	②改革提案	水洗化の時期に合わせて老朽化した建物から取り壊すなどについて検討が必要である。											